

(1) 会派代表 日本共産党  
質問者議員 駄場中 大 介

件名 1 誰もがいきいき暮らせるまちに。

要旨 1 必要な人に必要な公共交通を。

- (1) 令和7年12月議会では「生活圏の変更を強いられた方へ公共交通手段での対応を優先したい」との答弁がありました。緑ヶ丘・小山田・千代田台地域から河内長野駅方面への具体的な対応を行ってください。
- (2) 主要駅でのモックルバスと南海バスのダイヤ調整を行ってください。
- (3) 高齢者の移動手段確保のため、介護タクシーを一般利用できる仕組みの検討を。
- (4) 和泉市では、コミュニティバスの時間外である朝夕の時間帯を活用し、バス路線が廃止された地域の通勤手段を確保しています。当市においても同様の取り組みを。
- (5) 通勤利用者からは、夜間の減便により不便を感じているとの声が寄せられています。バス事業者と夜間の増便を検討協議してください。
- (6) 夜間の移動手段確保のため、乗合タクシーの導入について事業者と協議してください。
- (7) 通学定期補助は利用者増加にも寄与する施策です。乗車数向上にもつながる、より効果的で立体的な制度設計を。

要旨 2 市民の願いに寄り添ったごみ収集へ。

- (1) ごみ戸別収集を求める声は現在も多く寄せられています。どう考えているのか。
- (2) ごみアンケートの結果は。ごみステーションの設置状況には地域差があることを踏まえ、粗大ごみ対応を含めた継続的な改善を。

要旨 3 住宅団地の再生に向けての空き家対策を。

- (1) 放置空き家のうち、現在の特定空家の認定数は何件でしょうか。令和3年の都市環境・経済常任委員会での提言のとおり、特定空家に指定することで解決を進めるべき。
- (2) 買い手側のアンケートについて。市内での移動、借家から持ち家などの

移動も多くお聞きします。転入者だけでなく広く若年層に調査を。

- (3) 当市は1970年頃から約20年かけて住宅団地開発が進められました。開発の早かった住宅団地では現在、人口増加が見られる地域があります。しかし、今後20年間にわたって同様の傾向が続くとは限りません。20年先を見越して、開発の早かった住宅団地での課題を把握し将来に備えるべき。

要旨4 寺ヶ池公園リニューアルを良いものに。

- (1) 赤峰市民広場の代替えの声は大きいものがあります。四季の広場リニューアル時に一定規模の大型遊具が必要とされると思うが、考えをお聞きします。
- (2) 「あいつく」における外遊びイベント、おでかけわくわく広場事業を、寺ヶ池公園で常時開催できるようにリニューアル時の設計に組み込んではどうか。

要旨5 地域循環型経済の構築を。

- (1) 地元企業と力を合わせる「産官学」の会議の開催頻度は。
- (2) 地元企業と男性の育児休暇、男女雇用機会均等、奨学金代理返済などを話し合い、企業紹介ガイドブックに記載しPRを。

要旨6 バasketゴールを設置する公園整備の進捗をお聞きします。

件名2 誰もが自分らしく暮らせるまちに。自己責任を押し付けない社会を目指して。

要旨1 教育の機会均等の保障を。

- (1) 就学援助制度を私立や府立学校、フリースクールに通うすべての児童生徒を対象にし、学びの選択肢の保障を。
- (2) 中学校入学準備にかかる指定物品の購入総額は。所得にかかわらず中学校入学準備金の支給を。
- (3) 不登校の根本問題はどこにあると考えているかお聞きします。
- (4) 大規模校と小規模校で不登校率に違いはあるか。すべての小学校に不登校支援員と支援室の配置を。
- (5) 学校給食の無償化にあたっては、質を低下させることのないよう、必要に応じて物価高騰対策を講じるべきであるが、考えをお聞きします。

(6) 来年1月から3ヵ月分の中学校給食の無償化予算が2月臨時会で可決されたが、恒久的に行うべき。

(7) 権利としての包括的性教育と、小学校のトイレにも生理用品の設置を。

要旨2 同性婚の権利拡大を。市条例において事実婚と同様の権利確保の検討についての進捗をお聞きします。

要旨3 外国人住民の増加を見据え、地域での対応を専門的に支援する多文化共生課または担当グループの設置が必要な時期に来ています。組織的な人員配置を。

件名3 自然とともに生きるまちに。

要旨1 農の担い手の市外募集の進捗は。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者